

表2 財福島県体育協会加盟競技団体数及び会員数

(単位：団体、人)

年度	51	53	55	57	59
団体数	35	35	36	37	38
会員数	61,714	86,098	83,457	110,087	124,975

注：「保健体育要覧」(昭51～59)

た団体であります。アマチュアスポーツの統括団体である本協会には、競技団体、市町村体育協会、県高等学校体育連盟、県中学校体育連盟が加盟し、また、スポーツ少年団は育成団体として位置づけられており、それぞれの団体が本県体育・スポーツの振興に大きな役割を果たしております。

○財県体育協会加盟競技団体
本県スポーツの普及と競技力向上を推進する競技団体として、現在、陸上競技協会をはじめ、三十八競技団体が財県体育協会に加盟し、表2のとおり、登録会員数は年々増加してきております。

各競技団体は、県内各西部に地区団体を組織するなどして独自に県選手権大会や強化練習会等を開催し、優秀選手の育成、強化を図るとともに、広く本県スポーツの普及・振興に寄与しております。

昭和七十年の国体本県開催に向けて各競技の普及・発展を図るために、未加盟競技団体の組織化をはじめ、会員の少ない競技団体の育成、更には、各競技団体と学校体育団体との連携を密接にして、優秀選手の育成・強化に努める必要があります。

○学校体育団体
学校体育団体には、県中学校体育連盟、県高等学校体育連盟があり、それぞれ、中学校、高等学校における体育の健全な発展を目的として活動しております。

各連盟は、学校体育に係わる諸問題の審議をはじめ、各種競技会の開催、体育に関する調査研究及び体育に関する諸団体との連絡にあたり、中・高校生健康・体力の増進と、健全なスポーツ活動の推進に寄与しております。

また、競技種目の普及・振興を推進する部門として、競技種目別に中体連には十七、高体連には三十の専門部が設置されており、それぞれ財県体協加盟競技団体と連携を保ちながら、中・高校生競技愛好者の確保と競技の普及・発展に努めております。

本県のスポーツ活動の振興と競技水準の向上をめざすためには、今後更に、中・高校の一貫した指導体制の確立に

表3 スポーツ少年団数及び団員数

(単位：団、人)

年度	51	53	55	57	59
団 数	557	517	601	713	780
団員数	17,661	17,363	20,684	25,832	29,432

注：「保健体育要覧」(昭51～59)

○福島県体育指導委員連絡協議会
本協議会は、スポーツ振興法に基づき、市町村教育委員会から任命された体育指導委員により構成され、現在、一、三六一名の会員を有しております。

本協議会の目的は、会員相互の連絡提携を図り、体育指導委員の資質の向上と、体育、スポーツの普及・振

興に寄与することにあります。

この目的を達成するために、毎年研究大会を開催し、機関誌を発行するなどして、情報の交換や研修活動に取り組んでいます。

生涯スポーツが叫ばれている折に、地域スポーツの推進役として体育指導委員の果たす役割は大きく、本協議会の活動を通して、更に会員の指導者としての資質の向上と、指導者に対する情熱の高まることを期待しております。

○福島県レクリエーション協会
本協会は、レクリエーション活動の健全な普及・発展を図り、本県の文化の向上に寄与することを目的としております。

本協会の構成は、県サイクリング協会、県ユース・ホステル協会、県キャンプ協会、県オリエンテーリング委員会、県フォークダンス連盟、福島音楽文化協会をはじめ、県内十のレクリエーションクラブからなっております。

県レクリエーション大会は、加盟団体のそれぞれの分野の活動の成果を発表し、レクリエーション活動の普及・発展を図る協会最大の事業であります。また、公認指導者養成事業にも取り組み、県民の健康・体力づくりを通して、明るい社会づくりに貢献しております。

県民の健全な余暇の利用を促進させるために、加盟団体はもとより、本協会の組織・運営の充実・発展を期待しております。

○福島県ユース・ホステル協会